

問1 1901年から1946年までの日本の歴史を整理した資料において、この期間内に起こった出来事として適切なものを選びなさい。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. 米騒動による社会不安を受けて寺内内閣が倒れ、原敬によって本格的な政党内閣が組織された。
2. 下関条約の調印に際し、外務大臣として日本の全権を務めた陸奥宗光が清との交渉をまとめた。
3. 新政府による徴兵令や地租改正に反対する士族が、西郷隆盛を担ぎ出して西南戦争を開始した。
4. 日本列島改造論を掲げた田中角栄が首相に就任し、中国との国交を回復させる外交成果を上げた。

問2 1915年、日本が中国の袁世凱政府に対して突きつけた「二十一か条の要求」が出された当時の国際的な背景として最も適切なものはどれか。（2023年 島根公立入試 類似）

1. 日露戦争の勝利により、日本が満州におけるロシアの権益をすべて継承した直後であった。
2. 第一次世界大戦が勃発し、欧米列強がヨーロッパでの戦いに没頭してアジアへの関心が薄れていた。
3. 世界恐慌の影響で各国の経済が混乱し、日本が資源確保のために満州事変を引き起こした直後であった。
4. 第二次世界大戦においてドイツと同盟を結んだ日本が、アジアにおけるドイツの領土を保護しようとした。

問3 第一次世界大戦後の国際秩序を形成するために設立された国際連盟は、紛争解決の中立性を保つために本部の所在地が慎重に選ばれました。当時のヨーロッパにおいて、イギリス、イタリア、スペインといった国々ではなく、スイスが本部の置かれる国として選ばれた最大の理由は何ですか。（2015年 長崎県公立入試 類似）

1. 他国間の紛争に介入しない永世中立の立場をとっていたから
2. 第一次世界大戦において連合国側の中心的な役割を果たしたから
3. ヨーロッパのほぼ中央に位置し、経済力が最も高い国だったから
4. 国際連盟の設立を提唱したアメリカの大統領の出身国だったから

問4 平塚らいてうが雑誌「青鞥」を創刊した当初、彼女が最も重視した運動の姿勢としてふさわしい説明はどれですか。（2023年 山梨公立入試 類似）

1. 女性が本来持っていた才能や個性を認め、精神的な自由と自覚を促すこと
2. 女子教育の普及を目指し、海外の進んだ教育制度を導入すること
3. 生活困窮者を救済するため、政府に社会保障制度の確立を求めること
4. 男性と平等に働く権利を求め、工場労働者の労働条件を改善すること

問5 大正時代の文化の特徴を示した説明文において、白樺派が当時の社会や若者に受け入れられた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 大正デモクラシーの進展に伴い、個人の自由や個性の尊重を求める気運が高まっていたため。
2. 日露戦争の勝利による国粋主義の高まりを受け、日本の伝統的な価値観を再評価したため。
3. 深刻な不況の中で、労働者の権利や階級闘争を重視する社会主義思想が浸透したため。
4. 欧米の科学技術を導入し、物質的な豊かさや文明開化を最優先する考えが広まったため。

問6 大正時代、民主主義を求める大正デモクラシーの風潮が高まるなかで、工場などで働く人々が団結し、賃金の引き上げや労働環境の改善を求めて経営者に対して行った社会運動を何といいますか。（2026年 福岡公立入試 類似）

1. 労働争議
2. 小作争議
3. 打ちこわし
4. 米騒動

問7 1920年代半ばの日本において放送が開始され、国内外のニュースや娯楽を音声によって全国へリアルタイムに届ける役割を担った、大衆文化の発展に大きく貢献したメディアは何ですか。（2022年 新潟県公立入試 類似）

1. ラジオ放送
2. テレビ放送
3. 電話の普及
4. 新聞の刊行

問8 1920年代の大正時代、ラジオ放送の開始や新聞の発行部数の飛躍的な増加、さらには子供向け雑誌の発刊などを背景として、都市部の労働者や学生を中心に広がった新しい文化の形態を何と呼びますか。（2016年 愛媛公立入試 類似）

1. 大衆文化
2. 元禄文化
3. 化政文化
4. 国風文化

問9 1925年に制定された普通選挙法により、衆議院議員の選挙権を得るための条件が大きく変わりました。それまでの制度で設けられていた、有権者となるための制限として正しいものはどれですか。（2020年 歴史公立入試 類似）

1. 直接国税の納税額による制限
2. 戸主であることによる制限
3. 所有する土地の面積による制限
4. 読み書きができるという教育課程による制限

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 米騒動による社会不安を受けて寺内内閣が倒れ、原敬によって本格的な政党内閣が組織された。	1901年から1946年の期間は、日露戦争、第一次世界大戦、そして第二次世界大戦の終結までを含む激動の時代です。1918年の原敬内閣の成立は、第一次世界大戦直後の大正デモクラシーの進展を象徴する出来事であり、この期間内に収まります。陸奥宗光の活躍や西南戦争は19世紀後半（明治前期から中期）の出来事であり、田中角栄の日中国交正常化は戦後（1972年）の高度経済成長期にあたるため、提示された期間には含まれません。
問2	<b>答え 2</b> 第一次世界大戦が勃発し、欧米列強がヨーロッパでの戦いに没頭してアジアへの関心が薄れていた。	第一次世界大戦中、欧州諸国がアジアに目を向ける余裕がない状況を利用し、日本は中国における勢力拡大を図りました。日本は日英同盟を理由に参戦し、当時ドイツの拠点があった中国の山東省などを攻略した上で、これらの権益を日本に譲るよう中国政府に要求しました。これが「二十一か条の要求」であり、のちに五・四運動などの激しい反日運動を招く原因となりました。
問3	<b>答え 1</b> 他国間の紛争に介入しない永世中立の立場をとっていたから	国際連盟の本部がスイスのジュネーブに置かれたのは、スイスが1815年以来、永世中立国としての地位を確立していたことが大きな理由です。国際的な紛争を話し合いで解決する場として、特定の軍事同盟や利害関係に左右されない中立的な環境が求められました。この「中立性」の重視は、現在の国際連合における一部の機関が引き続きスイスに置かれていることにもつながっています。
問4	<b>答え 1</b> 女性が本来持っていた才能や個性を認め、精神的な自由と自覚を促すこと	「元始、女性は太陽であった」という言葉に象徴されるように、初期の青鞞社の活動は、女性が他人に依存する「月」のような存在ではなく、自ら光り輝く「太陽」としての主体性を取り戻すという、文学的・精神的な解放に重点が置かれていました。
問5	<b>答え 1</b> 大正デモクラシーの進展に伴い、個人の自由や個性の尊重を求める気運が高まっていたため。	白樺派が掲げた「人道主義」や「個性の尊重」は、当時の政治・社会運動である大正デモクラシーの精神と深く結びついています。日露戦争後の抑圧的な空気から解放されようとする若者や知識層にとって、自己の理想を追求し、人間の善意を信じる白樺派の明るく肯定的な態度は、新しい時代の象徴として広く支持されました。
問6	<b>答え 1</b> 労働争議	第一次世界大戦後の日本では、民主主義的な思想が広まるとともに、物価の上昇などにより労働者の生活が圧迫されました。これに対抗するため、労働者は労働組合を結成して組織的な行動をとるようになりました。選択肢にある「小作争議」は農村での小作料減免を求める動きであり、「打ちこわし」は江戸時代の民衆運動を指します。
問7	<b>答え 1</b> ラジオ放送	日本では1925年（大正14年）に東京・大阪・名古屋の各放送局で開始されました。それまで情報の主流だった新聞のような文字媒体とは異なり、音声を介して多くの人々が同時に同じ情報を得られるようになったことが最大の特徴です。これにより、情報伝達のスピードが飛躍的に向上し、大衆文化の形成を大きく加速させました。
問8	<b>答え 1</b> 大衆文化	大正時代には、教育の普及や都市化が進んだことで、一般の人々（大衆）が新聞、雑誌、ラジオといったメディアを通じて同じ情報を共有する社会状況が生まれました。これにより、それまでの特権階級や一部の知識層に限られていた文化が、広く一般の人々にまで開かれたものへと変化しました。選択肢にある元禄・化政文化は江戸時代、国風文化は平安時代のものであります。
問9	<b>答え 1</b> 直接国税の納税額による制限	大正デモクラシーの影響を受けて成立した普通選挙法では、それまで有権者の条件とされていた「直接国税3円以上（1919年改正時）」などの納税額による制限が完全に廃止されました。これにより、経済的な理由で選挙に参加できなかった人々も投票が可能になり、民主主義への一歩となりました。ただし、この時点では女性の参政権は認められておらず、満25歳以上の男子に限られていた点に注意が必要です。